



第2回・ばあばとじいじのごはん処を開催致しました

グループ会社の(株)こんのFC事業の大戸屋ごはん処福島北矢野目店で第2回ばあばとじいじのごはん処を開催いたしました。

2026年9月21日(月)世界アルツハイマーデーに合わせて開催。今年も株式会社ツクイ様に 通われている(認知症や障がいを抱えた)チャミングなばあばとじいじ24名にご参加いただきました。ばあばとじいじと一緒に働いて「注文をまちがったり、失敗してもみんなで笑って暖かい時間を共有しよう」をスローガンに掲げ、感動の涙あり、笑いあり、世代を超えた人と人の繋がりが感じあえる暖かい時間を共有することが出来ました。

今年で2回目の開催になりますが、人との繋がりが希薄になってきているといわれる現代において、様々な年代の人がそれぞれの個性を活かしながら協力し働き、絆を深める時間は改めて貴重な事だと感じました。ばあばとじいじは明日になったら忘れてしまうかもしれないけど、心を通わせ一緒に過ごした時間は一緒に働いたメンバーや、ご来店頂いたお客様にとっては一生の思い出になったと思います。

こう言った取り組みができるのも、日々大戸屋福島北矢野目店に足を運んでくださっているお客様があって成り立っています。今後もこの取り組みを継続できるよう、大戸屋スタッフ一同頑張っていきたいと思っています。(文:(株)こんのFC事業部 大戸屋店主 澤野)

ご協力頂いた、一般社団法人Carnivalworks様のボランティアスタッフ、福島県立医科大学保健科学部様の学生ボランティアスタッフの皆様本当にありがとうございました。



第71回定期競漕大会・一般の部参加

9月26日(土)、ボートの聖地「戸田オリンピックコース」にて「第71回 定期競漕大会(王子グループ VS 日本紙パルプ商事グループ)」が開催され、我ら「こんのグループボート部」が一般の部に出場しました! 6人漕ぎのボートで250メートルを一気に漕ぎ抜ける本レース。時折雨がパラつく天候の中、10:40にいよいよレースがスタート。岸手からは、副社長率いる応援団が熱い声援を送るなか、こんの/アイクリーン共同チームがお揃いのTシャツで気合を入れ疾走致しました。結果はわずかな差での5着となり、悔しさは残るものの全力を出し切った選手たちの顔には晴れやかな達成感が満ち溢れていました。(ちなみに…ボート部発足後1回の練習でこの結果は上々だと思います)「このままでは終われない!」と来年の「第72回大会」でのリベンジを誓うボート部員たちをみていると、惜敗は成長の糧になるのだと改めて感じました。結果よりプロセス重視である当グループにとって、とても良い経験になりました。



第6回スポGOMI大会inふくしまに参加しました!!

スポGOMIinふくしまは、昨年もエントリー数が多い大会でしたが、今年はさらに増加し135チーム585名が参加。こんのグループも3チーム増加の9チーム編成でエントリー。町からゴミを少しでもなくそうと必死にゴミを探し拾い集めました。主催者発表によると参加者全体で約300kg近いゴミを集めたとのこと。こんのグループ3チームはギリ番(70位、110位)とラッキーナンバー(77位)で表彰されました。天候が危ぶまれる中での開催でしたが、グループ3社で参加することができ、非常に有意義な時間でした。

次回大会こそは当社グループから優勝チームが出るよう、頑張っていきたいと思っています。

【創業年月日】1988年(昭和63年)3月

【経営理念】

「仕事を通じて人間的成長を追求する」という企業理念のもと、お客様、仕入先様、社員とそこご家族、そして弊社を支えてくださる全ての皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、「縁から絆へ」と繋がりを深めてまいります。

「お客様にとって価値ある存在であり続けること」を大切に、事業の拡大とサービス品質の向上に努めております。

インタビューにお応え頂いたのは仙台支店 支店長 高橋 満 様です

Q:日本オフィスオートメーション様の事業内容について教えてください

A:オフィスのIT環境をワンストップで実現します。オフィスに欠かせないOA機器のプロフェッショナルとしてお客様の課題を解決し、より効率的なオフィス環境を提案しています。

弊社の強みは3つです。全国19拠点のネットワークによる全国対応・スピード対応できる対応力。

レンタルから設置・ネットワーク構築・メンテナンス・各種工事など、全てに対応する総合力。

エコサイクルを考え、使えなくなった機器をリサイクルする工場を完備。

これらが弊社の強みで、設立当時から築いてきた信頼と実績を武器にお客様の環境を支援します。

Q:2026年のトピックスを教えてください。

A: プライバシーマーク制度「感謝状」をいただきました！

当社のプライバシーマーク制度の推進および個人情報保護への長年の取り組みが評価され、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)より、「感謝状」をいただきました。

今後も信頼される企業として、個人情報保護とサービス品質向上に努めてまいります。

Q:最後に一言お願い致します。

A:変化の多い環境の中、メンバー一人ひとりの柔軟なアイデアや行動で、お客様のオフィス環境を支援します！



インタビューありがとう
ございました！
インタビュアー
仙台センター:石山 俊吾





株式会社ファーマーズ・フォレスト様

【創業年月日】平成19年7月31日(道の駅ぶくしま開業:令和4年4月27日)

【経営理念】

当社は、「Local & Individuality × Tech ～柔軟な発想と解決力で地域活力を創造するイノベーター～」という理念のもと、地域の個性と独自の創意工夫を掛け合わせ、新たな活力を生み出しています。

そして、「日本のローカルをワールドクラスにする地域商社」として、その土地に眠る多様な魅力を掘り起こし、地域から全国、さらには世界へとつなぐ架け橋となり、持続可能な未来を拓いていきます。

事業内容: 拠点運営・農業事業／地域プロデュース・職能支援・コンサルティング事業／地域商社事業／
着地型旅行・ツーリズム事業／ブルワリー事業

インタビューにお応え頂いたのは 山田小枝 様です

Q:ファーマーズ・フォレスト様について教えてください

A: 当社は、道の駅やアンテナショップの運営を核に、農業・観光・流通を融合させた独自のビジネスモデルを展開しています。施設運営に留まらず、地域資源をブランド化し、販路を開拓し(つないで・結んで・場をつくる)、地域プロデュースを強みとする地域商社です。



インタビュー
ありがとうございました！
インタビュアー
福島センター:生天目 和幸



Q:道の駅としての役割や地域との連携があれば教えてください

A: 地元農家さんが丹精込めて育てた安心・安全な農産物や、福島のお土産品をお客様にお届けすることを大切にしています。道の駅ぶくしまは、単に商品を販売する場所ではなく、生産者様や事業者様が思いを込めてつくった商品や農産物を、ご利用者様へお届けすることで、人と人、地域と地域をつなぐ場所でありたいと考えています。そして、福島の魅力をより多くの方に知っていただき、実際に地域を訪れていただくきっかけをつくることも、道の駅の大切な役割だと考えています。「福島をつなげる場所」として、地域の皆様とともに、福島の魅力を伝えていきたいと考えています。



Q:今一番注力していることはありますか

A:道の駅を目的地として楽しんでいただくだけでなく、周辺地域を巡り、福島の魅力をより身近に感じていただける取り組みにも力を入れています。電動アシスト付きのレンタサイクルを2時間300円でご利用いただけます。道の駅を起点に、周辺の観光スポットや地域を快適に散策していただき、福島の魅力をより深く知っていただくきっかけになればと考えています。

Q:商品または会社PRをお願い致します。

A: 道の駅ぶくしまは、フルーツライン沿いに位置し、季節を通じて旬の果物や新鮮な野菜を販売しています。今の時期は、桃や梨、ぶどうなど、福島ならではの旬の味覚をお楽しみいただけます。

また、全天候型の屋内こども遊び場やドッグランも併設しており、

ご家族連れから幅広い世代の皆様にお楽しみいただけます。

福島の「おいしい」「楽しい」を感じていただき、また福島を訪れたいと思っただけの場所として、皆様のお越しをお待ちしています。





株式会社 尚楠 様

【創業年月日】平成8年6月28日

【事業内容と創業以来大切にしてきたこと】

当社は1996年の創業以来、土木事業を中心に、公共工事や災害復旧・復興事業などを通じて地域のインフラ整備に携わってきました。現在は、これまで培った技術やノウハウを活かし、不動産開発や農業にも事業を広げています。創業以来大切にしているのは、地域に根差し、地域と共に成長していくことです。これからも時代の変化に柔軟に対応しながら、新しいことにも挑戦していきたいと考えております。



インタビューにお応え頂いたのは 総務・経理 渡辺則子 様です

Q:建設・土木事業を中心とする中で、日本酒の「鍋山」を手掛けるようになったきっかけや、込められた想いを教えていただけますでしょうか。

A:自社で栽培した酒米「チヨニシキ」を活かし、新たな価値を生み出したいという思いから、日本酒「鍋山」への取り組みが始まりました。醸造は笹の川酒造様をお願いし、地域の力を掛け合わせて一つの商品にしています。「鍋山」を通じて、地域の魅力も発信していきたいと考えています。



Q:「鍋山」の日本酒づくりにおいて、原料や製法、味わいなど、特にこだわっている点はどのようなところでしょうか。

A:「鍋山」は、自社で大切に育てたチヨニシキを使用し、笹の川酒造様の技術によって仕上げていただいています。華やかな香りと、幅広い料理に合わせやすい味わいが特徴です。味わいだけでなく、米づくりから酒造りまでの地域とのつながりも含めて、「鍋山」の魅力を感じていただければと思います。

Q:実際に「鍋山」を飲まれる方には、どのような場面で、どのように楽しんでもらいたいとお考えでしょうか。また、おすすめの飲み方などがあれば教えてください。

和食はもちろん、さまざまな料理に合わせやすいので、ご家族やご友人との食事など、日常の食卓で気軽に楽しんでいただきたいです。料理や季節に合わせて温度を変えるなど、それぞれのお好みの飲み方で楽しんでいただければと思います。

Q:建設・土木事業と日本酒づくりという異なる取り組みを通じて、今後地域にどのようなことを届けていきたいとお考えでしょうか。また、今後の「鍋山」の展開についてもお聞かせください。

当社はこれまで、土木や不動産開発を通じて地域の暮らしを支えてきました。日本酒づくりも、地域で米を育て、その土地ならではの価値を生み出すという点で、当社が大切にしてきた地域とのつながりの延長にあると考えています。「鍋山」を通して今後も地域の方々とのつながりを大切にしながら、その魅力を広く発信していきたいと考えています。

インタビュー
ありがとうございました！
インタビューアー
郡山センター：波多野 大河





共栄工業株式会社 様

【創業年月日】1948年6月(昭和23年)

【経営理念】

創業以来、企業理念である「社訓」を基に、日々の仕事に対する価値観、仕事に対する姿勢と行動力、人との交わりを通して社会に責任を果たします。

【社訓】

- ・この仕事を通じて社会に奉仕しよう
- ・人の力と心の和を大切にしよう
- ・合理的な業務を行いメーカーの本分をつくそう

インタビューにお応え頂いたのは本社総務部様です

本社:東京都品川区南大井3-28-15祐ビル4F TEL: 03-3762-2198



インタビュー
ありがとうございました！
インタビュアー
東京センター:平松 厚



京都工場

Q: 共栄工業様についてお聞かせください

A: 当社は、戦後の復興期に創業しました。まだ木製のオフィス家具が主流だった時代、私たちはいち早く金属製オフィス家具の製造に取り組み、国内に普及してきました。今では一般的になった効率的に文書を管理する「ファイリングシステム」や「レコードマネジメント」なども、私たちの製造する家具が普及の一翼を担っていると自負しております。お客様のニーズに合わせた開発・提案・製造はもちろんのこと、「社会に貢献し、社会からも愛される企業になる」と「従業員との高いエンゲージメントの構築」この二つを軸に、持続可能な社会の実現に向け、私たちは常に努力しております。共栄工業の社名には「企業は社会に生かされ、社会と共に発展する」という意味が込められています。

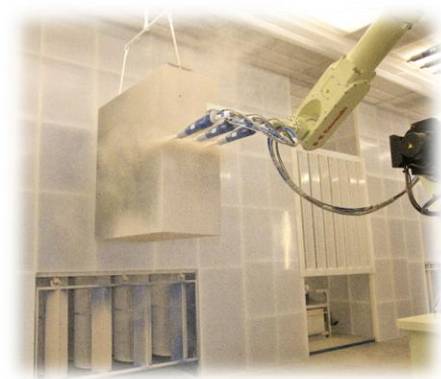
Q: 共栄工業様の概要をお聞かせください

A: 共栄工業は創業より、オフィス家具業界のパイオニアとして、快適な空間の創造に取り組んでおります。創業当時から続いている、大手ブランドメーカー各社へのOEM供給や、自社製品の開発で培われた独自の技術により、機能性や耐久性を追求したODM製品を提供しています。その基盤は、開発・設計・製造までを自社で一貫して手掛ける生産体制にあります。共栄工業の高い商品開発力が新たなオフィス空間を創造し、理想の働く環境を提供することができると考え、絶えず新しいものづくりに挑戦しています。

Q: 工場の取り組みの特長を教えてください

A: 「京都工場」(滋賀県湖南市)では、ISO9001をベースとした継続的な品質保証体制の強化に努めています。更に、最新設備での「高品質」「多色化」「コストダウン」を図っています。しかしながらいくら最新鋭の設備を揃えても、最終的に製品を作り上げるのは人です。当社では、社員の思いやスキルも大切に考えております。代々受け継がれた匠の技術・私たちのスピリットでもある「ものづくりの本質」を次世代に継承していきます。

工程内での品質管理はもちろん、その仕組みづくりや、高精度な三次元測定器の活用などを通じて、品質向上と環境保全の視点に立った生産活動を行っております。最近では、DX化を推進するための改善にも力を入れており、動画マニュアルの導入、勤怠管理の電子化をはじめとした生産性・作業性向上にも積極的に取り組んでおります。環境に配慮した生産はもちろんのこと、人にも優しい工場を目指しています。



塗装ロボット

Q: 今後の会社の取り組みを教えてください

A: 最近では、オフィス家具製造で培った技術力・設備を応用して、教育・医療分野、更には納骨壇、宅配ボックスを手掛け、幅広くものづくりを展開しています。又、世界の重要施設で採用されているABLOY社製のセキュリティパーツ製品の輸入・販売も手掛けております。今年度より「健康企業宣言」を掲げ、健康優良企業「銀の認定」を目指し活動を開始しました。